

敦賀市赤崎におけるシタベニハゴロモの初記録

埴田 晃一郎

The first record of *Lycorma delicatula* (White) in Akasaki, Tsuruga City, Fukui Prefecture

Koichiro TADA

(要旨) 2009年に石川県小松市で日本国内としては初の定着が確認され、2013年に福井県内でも確認されたシタベニハゴロモを、2021年9月19日から9月21日にかけて敦賀市赤崎にて採集した。これは福井県嶺南地方における本種の初記録である。

キーワード：シタベニハゴロモ，敦賀市赤崎，初記録

シタベニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) はカメムシ目ビワハゴロモ科に属する昆虫で、成虫の後翅基部に赤色の模様が見られるのが特徴である(富沢ほか, 2010)。中国、台湾、ベトナム、インドをはじめとするアジア地域に分布し、日本国内では2009年に石川県小松市で初めて定着が確認された(富沢, 2013)。その後本種は分布を拡大しており、2019年までに石川県に加えて福井県、大阪府、岡山県で生息が確認され(梅村ほか, 2013; 嶋田ほか, 2015; 松本, 2017; 奥島・水井, 2019)、2021年には兵庫県でも本種の成虫が確認されたとの情報がある(2021年8月31日付神戸新聞)。

福井県内において本種は、2013年にあわら市吉崎において初確認された(梅村ほか, 2013)。その後県内に定着・分布を拡大し、2017年には越前市村国山が成虫の最南記録として報告され(梅村ほか, 2017)、2019年には南越前町河野でも成虫が確認された(梅村, 私信)が、嶺南地方においてはこれまで本種の記録はなかった。筆者は2021年9月に敦賀市赤崎にて本種を複数個体採集したため、福井県嶺南地方における初記録として下記の通り報告する。標本は筆者が採集し、福井市自然史博物館が保管している。



図1：福井市自然史博物館に所蔵されたシタベニハゴロモの標本(敦賀市赤崎, 19-IX-2021, 埴田晃一郎採集, 福井市自然史博物館所蔵：FCMNH-31439)

シタベニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White)

1♂, 敦賀市赤崎, 19-IX-2021 (FCMNH-JI31439: 図1)

1♂, 同地, 20-IX-2021 (FCMNH-JI31558)

1♂, 同地, 21-IX-2021 (FCMNH-JI31559)

筆者が本種を確認したのは敦賀市赤崎にある海水浴場の駐車場付近であった。2021年9月19日、当時4歳の従兄弟と共に昆虫採集をしていたところ、本種1個体が飛翔しながら目の前を横切って近くにあったガードレールに着地したため、採集した(図2)。本種の寄主植物としてはシンジュ *Ailanthus altissima* Swingle やセンダン *Melia azedarach* L. などが知られているが(富沢ほか, 2010)、当時筆者が本種を確認した場所から目視できる範囲にはこれらの樹木はみられず、周囲には草本類に富む砂浜やコンクリートの地面が広がっていた。



図2：ガードレールに着地したシタベニハゴロモ(敦賀市赤崎, 19-IX-2021, 埴田晃一郎撮影)

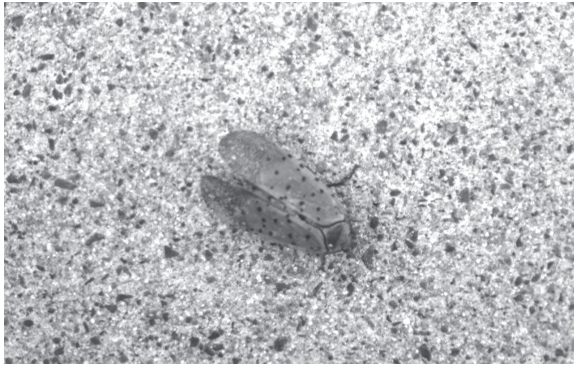


図3：地面で見つかったシタバニハゴロモの死骸
(敦賀市赤崎, 21-Ⅸ-2021, 畠田晃一郎撮影)

その後、筆者は同地で9月20日に成虫1個体を確認・採集し、さらに21日には本種の成虫の死骸を計4個体確認したため、このうち1個体を採集した(図3)。なお、卵塊は1つも確認できなかった。

以上のように、筆者が敦賀市赤崎で確認した本種の成虫は計6個体であった。また、本種の飛翔能力はせいぜい2mほどの距離を飛行する程度にとどまる(富沢ほか, 2010)ことと、この6個体全てがシンジュやセンダンなどが近くに存在しない砂浜付近で確認されたことから、敦賀市赤崎に本種が定着したと結論するには早計である。しかし、本種の中にはシンジュやセンダンだけでなくソメイヨシノなどにも産卵する個体が確認されており(梅村ほか, 2017)、本種を確認した地点から数十mの場所にはソメイヨシノが群生していた。また、本種が確認された地点から国道を挟んで東南東方向には山林が広がっており、本種がこれらの樹木及び環境で定着・分布拡大する可能性は十分にあるといえる。本種が多数寄生する樹木やその根元の植物には本種の排泄物の影響で「すす病」が発生することや、果樹等にも寄生による被害が及ぶ可能性が指摘されている(富沢ほか, 2010)。以上のことから、今後も敦賀市赤崎における本種の発生状況並びに周辺地域への分布拡大を追跡調査していく必要があるだろう。

末筆ながら、本稿の執筆にあたり、本文をお読みいただき有益なご助言を頂くと共に、シタバニハゴロモに関する文献を多数ご恵与いただいた梅村信哉氏(福井市自然史博物館)に心より御礼申し上げます。

引用文献

- 松本吏樹郎, 2017, 大阪市内で発見されたシタバニハゴロモ. *Nature Study*, **63** (9), P4.
- 奥島雄一・水井颯麻, 2019, 岡山県におけるシタバニハゴロモの記録. *月刊むし*, (586), 19-20.
- 嶋田敬介・福富宏和・齊木亮太・須田将崇・富沢章, 2015, 石川県および福井県におけるシタバニハゴロモの採集記録(2015年). *とっくりばち*, (83), 2-3.
- 富沢章, 2013, 石川県に定着したシタバニハゴロモ, *月刊むし*, (513), 19-22.
- 富沢章・林和美・石川卓弥・福富宏和・大宮正太郎・三上秀彦, 2010, 日本におけるシタバニハゴロモの発生と分布. *とっくりばち*, (78), 1-6.
- 梅村信哉・伊藤勝幸・井上美代子・源野みね子・桜井知栄子, 2013, あわら市吉崎におけるシタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) の初記録. *福井市自然史博物館研究報告*, (60), 67-68.
- 梅村信哉・伊藤勝幸・井上美代子・斎藤寿子・桜井知栄子, 2017, 福井県におけるシタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) の分布拡大状況. *福井市自然史博物館研究報告*. (64), 89-92.